

挑戦元年アクションプラン

(行程表)

進捗状況

(平成 25 年 9 月末時点)

平成 25 年 11 月

## 目 次

I. くまもとの再デザインに取り組みます	
1. 市役所の再デザイン	1
2. 交通体系の再デザイン	3
3. 中心市街地の再デザイン	5
II. もっと暮らしやすさを実感できるまちを 実現します	6
III. 選ばれる都市くまもとを実現します	10

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
①. 政令指定都市くまもとの実現				
1	ア. 政令市の実現			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>5つの区役所の設置</li> <li>事務権限移譲の円滑化</li> </ul>	供用 引継事務の実施	⇒	平成24年4月1日付けで設置済 熊本県・熊本市事務権限移譲等に関する連絡調整会議において、移譲された事務権限の円滑な処理の確保について協議を実施
2	イ. 都市ブランドの情報発信			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本都市ブランドの情報発信</li> <li>熊本都市圏及び九州縦軸・横軸連携の推進</li> </ul>	都市ブランド情報発信強化 連携事業の推進	⇒ ⇒	国連 生命の水 最優秀賞受賞に伴い「水」のプロモーションを強化するとともに、県と連携した首都圏等でのPRに取り組む くまもと都市圏協議会において、各自治体と連携した事業の推進 また、北九州市・福岡市・鹿児島市による四都市連携や九州中央地域連携推進協議会による事業を展開中
3	ウ. 地域主権における大都市制度の確立			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定都市市長会の一員として活動</li> </ul>	正式加入、提言活動等参画	⇒	年3回の市長会議への参加、国への要請活動の実施等指定都市市長会の一員としての活動に参画中
②. 区役所を最大限に活用				
4	ア. 市民サービスの向上			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所における総合的市民サービスの提供</li> </ul>	区役所設置による実施	⇒	区役所における総合的な市民サービスを提供中
5	イ. 区のみちづくり予算の確保			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>区ごとのみちづくりの予算</li> </ul>	制度設計	区ごとのみちづくり予算の執行	区のみちづくりビジョンに基づく、区の特性を生かしたみちづくり推進事業を実施中
6	ウ. 区のみちづくり懇話会(仮称)の設置			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>区のみちづくり懇話会(仮称)の設置</li> </ul>	設置検討	設置・会議の開催	区ごとにのみちづくり懇話会を設置し、随時会議を開催しながら、区の特性を生かしたみちづくりに関する事項について協議中
7	エ. 区ごとの振興ビジョンの策定			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>区ごとの振興ビジョンの策定</li> </ul>	ビジョンの審議及び策定	区ごとの展開	平成24年度にみちづくりビジョンを策定し、区民へ広く周知するとともに区のみちづくり推進の指針として活用中
③. 意思決定等をスピードアップ				
8	ア. フラット化			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>部の廃止による組織のフラット化</li> </ul>	部廃止による組織の2層化	⇒	平成23年度末で部を廃止済
9	イ. 市政経営会議の設置			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市政経営会議の設置</li> </ul>	設置及び運営	⇒	平成24年4月1日付けで設置済
④. 都市戦略力の向上				
10	ア. 農水商工局の設置			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>農水商工局の設置</li> </ul>	運営	⇒	平成23年4月1日付けで設置済
11	イ. 観光文化交流局の設置			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光文化交流局の設置</li> </ul>	運営	⇒	平成23年4月1日付けで設置済
12	ウ. 東京事務所の強化			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京事務所機能の拡充</li> </ul>	国との連絡調整等体制強化	⇒	平成24年4月1日付けで人員増
⑤. さらなる行財政改革				
13	ア. 行財政改革の推進			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>行財政改革の推進</li> </ul>	計画の推進	⇒	計画に基づく行財政改革を推進中
14	イ. 総人件費の抑制			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員管理の徹底</li> <li>総人件費の抑制</li> </ul>	中期定員管理計画の実施 業務効率化の推進	⇒ ⇒	中期定員管理計画に基づき効率的な組織運営を図った結果6,441人となり、計画目標の達成に向けて着実に進捗 業務のアウトソーシング等の業務効率化を推進中
15	ウ. 市場化テストの検討			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部委託の可能性及び市場化テストの検討</li> </ul>	モデル事業実施	本格実施	簡易提案により民間開放する事業を決定し、平成25年8月末から3事業について詳細提案を募集開始
16	エ. 事業仕分けの導入			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業外部評価の実施</li> </ul>	10項目を選定し実施	⇒	平成25年8月23、24日に、6項目を対象とした事務事業外部評価会議を実施済
17	オ. IR・市場公募債の発行・公債管理の徹底			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>IR・市場公募債の発行・公債管理の徹底</li> </ul>	公募債の発行及びIR活動	⇒	平成25年10月のIR活動及び11月の公募債発行を予定

I. くまもとの再デザインに取り組みます

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)	
I くまもとの再デザインに取り組みます 1 市役所の再デザイン	⑥. 情報共有・市民参画の推進				
	18	ア. 2000人市民委員会の設置			
		▪ 2000人市民委員会の設置	委員会の運営	⇒	第2期市民委員を6月に委嘱 全体研修会を11月に開催予定 アンケート調査を1回実施済(平成25年度3回実施予定)
	19	イ. 直接対話の充実			
		▪ 市民との直接対話のさらなる充実	おでかけトーク等の継続開催	⇒	おでかけトークを2回実施済(平成25年度5回実施予定)
	20	ウ. 市政リレーシンポジウムの開催			
		▪ 市政リレーシンポジウムの開催	リレーシンポジウムの拡充	⇒	平成25年度は、熊本市の公共交通の現状・課題・今後の方向性について議論を行なうもので、平成25年9月から平成26年2月にかけて計6回開催予定
	21	エ. 公的オプズマンの設置			
		▪ 熊本市オプズマンの設置、制度の運用	制度の運用	⇒	平成25年度の苦情申立て件数31件
	⑦. 信頼される市役所の実現				
	22	ア. コンプライアンス担当監の設置			
		▪ コンプライアンス担当監及び推進員の設置	職場意識向上の取組強化	⇒	コンプライアンス担当監を委嘱し、コンプライアンス活動への助言指導を実施するとともに、局等のコンプライアンスに関する取り組みを主導するコンプライアンス推進員を設置済
	23	イ. 公務員倫理の徹底			
		▪ 公務員倫理の徹底	研修の継続実施及び強化	⇒	公務員倫理の徹底のための様々な研修の継続及び強化を実施中 なお、不祥事対策として、「過去の事例を活用した職員研修の手引き」を作成、 公金・公金外現金の保管状況の確認、飲酒運転撲滅宣言の見直し等を実施
	▪ 内部通報制度の運用	制度の運用	⇒	外部相談員(弁護士)を委嘱し、相談しやすい体制を整備済	
24	ウ. 大学等と連携した職員の資質向上				
	▪ 市役所職員の資質向上	政策コンペ参加及び職員派遣	⇒	政策コンペへの適宜参加及び大学へ職員派遣中	
	▪ 都市政策研究所の設置	運営	体制強化	平成25年4月から専任の職員を配置し体制を強化	

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
①. 誰もが利用できる公共交通網の整備				
25	ア. 鉄軌道を軸とした公共交通体系の整備			
	鉄軌道との結節拠点の整備	調査及び検討	⇒	鉄軌道との結節拠点候補地を抽出中
	バス乗換拠点(ターミナル)の改善	検討・見直し	調査及び検討	バスの乗り換え拠点候補地を抽出中
	交通基本条例(仮称)の制定	条例制定	条例施行	平成25年4月から熊本市公共交通基本条例を施行
	GPSバスナビゲーションシステム導入	—	—	バス路線網再編実施プログラムの中でシステム導入について検討中
	基幹公共交通軸の機能強化	調査及び検討	検討及び社会実験	城南方面での急行バス社会実験準備中
	第4回 熊本市圏総合都市交通体系調査	PT調査	整理・分析・予測	平成24年度に実施したパーソントリップ調査結果を分析し、課題を抽出するなど調査検討中
26	イ. バス網の再編			
	市営バス路線の移譲円滑化の推進	小峯営業所分譲開始	⇒	平成25年度分については移譲完了 平成26年度分の路線移譲に向け準備中
	バス路線網の再編	実施プログラム策定	実証運行	現行の国庫補助制度の見直しを国に対し要望中
27	ウ. 区バス等の運行			
	コミュニティ路線等の導入	ゆうゆうバスの運行開始 新たなコミュニティ交通調査検討	ゆうゆうバスの運行状況の検証 新たなコミュニティ交通調査検討・運行開始	ゆうゆうバスについて路線及びダイヤ見直し後の運行状況を検証中 公共交通空白地域に対応したコミュニティ交通の運行準備中 公共交通不便地域に対応したコミュニティ交通の導入協議中
28	エ. ICカードの導入			
	ICカード導入の推進	導入検討	導入準備	市電とバスの相互連携について調整中
29	オ. バリアフリー化等による市電の利便性向上			
	誰でも利用しやすい市電利用環境の整備	順次電停改良工事	低床電車機種選定・車両製作及び工事	低床電車の機種選定し、デザインを作成中 電停改良については35電停中19電停が改良済 平成25年度は交通局前電停の改良工事を実施予定
30	カ. 熊本・川尻駅間新駅の実現			
	熊本・川尻駅間新駅の整備	協定締結	詳細設計	平成25年8月9日にJR九州と「協定書」を締結し、駅舎について設計中
②. 高速交通体系へのアクセスの充実				
31	ア. 熊本駅の乗り換え利便性の向上			
	熊本駅東口駅前広場の整備	基本計画案の修正	修正案の検証・調整	熊本駅のバスサブターミナル化や市電の駅舎乗り入れなどを踏まえ、熊本県から引き継いだ基本計画の見直し・検証作業中
32	イ. 植木・北バイパス、熊本西環状道路の整備			
	熊本西環状線の整備	県より事業の引継	⇒	埋蔵文化財調査、用地取得、測量設計、橋梁工、跨道橋工事を実施中
	国道3号植木バイパス及び熊本北バイパスの整備	国事業に対する負担	⇒	国土交通省において、調査・設計、用地取得、各種工事を実施中
33	ウ. スマートインターチェンジの設置			
	(北熊本)スマートインターチェンジの設置	測量・設計等	工事	平成23年3月1日に国から連結許可があり、平成24年1月13日にはNEXCO西日本との協定を締結 工事着手に向け、測量・設計を完了し、用地交渉中
	(城南町)スマートインターチェンジの設置	測量・設計等	⇒	平成24年4月17日に国から連結許可があり、平成24年8月7日にはNEXCO西日本との協定を締結 工事着手に向け、測量・設計を進め、用地交渉開始の準備中
34	エ. 高速道路利用料金軽減策の検討			
	熊本市圏における都市内交通の円滑化の推進	検討及び調査	⇒	基幹公共交通軸の機能強化の検討の中で熊本市圏における都市内交通円滑化についての調査・検討中
35	オ. 熊本港の拠点性の向上			
	熊本港の整備の促進(県事業)	ガントリークレーン供用	⇒	県事業への負担金を支出中
	熊本港の利用促進(物流)	ポートセールスの強化とコンテナ助成継続、増便等に対する船社向け補助制度新設	コンテナ助成の見直し・検討	県市連携によるコンテナ助成及び航路増便等に対する助成並びにポートセールス活動を継続実施中 なお、平成24年12月にコンテナ定期航路の週2便化が実現
	熊本港の利用促進(人流)	クルーズ船等の大型客船入港に伴う航行安全対策調査	クルーズ船等の大型客船入港及び客船誘致に向けたポートセールス	船会社に対する誘致活動を県市連携により実施中
36	カ. 熊本空港の路線維持・拡大			
	阿蘇くまもと空港国際線の利用促進	チャーター便の誘致	⇒	国際線チャーター便の誘致に向けた協議会への負担金を支出中
	県・市連携によるJRやバスを活用した熊本空港への移動円滑化の促進	取組の継続	⇒	県が空港ライナー(タクシー)を運行中

I くまもとの再デザインに取り組みます

2. 交通体系の再デザイン

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)		
くまもとの再デザインに取り組み	③. 環境負荷の小さい交通体系の実現					
	2. 交通体系の再デザイン	37	ア. 市電の利用促進			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>市電車両リフレッシュ・ロケーションシステム事業</li> </ul>	リフレッシュ整備・ロケーション運用	⇒	市電車両リフレッシュは事業実施中 市電ロケーションシステムは、平成24年10月から「スマートひかりタウン 熊本」構想におけるロケーションシステムのトライアル運用中
			<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本駅東口駅前広場の整備【No.31再掲】</li> </ul>	基本計画案の修正	修正案の検証・調整	熊本駅のバスサブターミナル化や市電の駅舎乗り入れなどを踏まえ、熊本県から引き継いだ基本計画の見直し・検証作業中
		<ul style="list-style-type: none"> <li>パークアンドライドの促進</li> </ul>	取り組みの促進	⇒	促進に向けて取り組みを実施中	
	38	イ. 公用車のカーシェアリングの導入				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>公用車のカーシェアリングの導入</li> </ul>	実証実験	⇒	平成25年2月からプラグインハイブリッド車2台を使用したカーシェアリングの実証実験を実施中	

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
①. 歴史・水・緑にあふれた城下町づくり				
39	ア. シンボルプロムナードの歩行者空間化			
	▪ 桜町・花畑地区の再開発促進及びまちづくりの推進	基本計画(案)策定	⇒	平成24年3月に策定したシンボルプロムナードの基本構想に基づき、現在、基本計画(案)を作成中
40	イ. ジェーンズ邸の移転・活用			
	▪ ジェーンズ邸の移築と活用	シンポジウムの開催	検討委員会	ジェーンズ邸の復元工法に関する検討委員会の委員の選任を進めており、平成25年度内に2回委員会を開催予定
41	ウ. 町屋の保全・活用			
	▪ 城下町の風情を感じられる町並みづくりの推進	助成制度実施	⇒	新町古町地区において「城下町づくりモデル街区」に5箇所認定モデル街区の助成対象と個別の町屋等の助成対象に10件助成を行い、町並みづくりを推進中
42	エ. 親水環境の整備			
	▪ 坪井川親水空間等の整備	坪井川親水空間の供用	⇒	くまもと森都心プラザに接する坪井川右岸側をはじめ、街なかの親水空間を整備済
43	オ. 緑の魅力向上			
	▪ 市電緑のじゅうたん事業等による緑の魅力向上	軌道敷緑化整備、緑化支援	⇒	平成24年度末までの実績は延長約935m(熊本駅前～田崎橋電停間約400m含む)今後は、花畑町周辺の道路交通計画検討状況を踏まえて推進
②. 活気にあふれ、にぎわいのあるまちづくり				
44	ア. MICE(マイス)機能の充実			
	▪ MICEの推進	MICE誘致推進機構の設置・運営	MICE誘致推進機構加盟団体と連携した誘致・受入体制づくり	MICE誘致推進機構第2回総会において決定した重点事項について取り組み中
	▪ MICE施設の整備	整備の検討	基本計画策定	MICE施設整備基本計画の策定に向けて、有識者等による審議会において審議中
	▪ 花畑地区文化ホールの整備	事業スキームの見直し	—	平成25年3月の熊本市花畑地区開発協議会の解散に伴い、整備中止が決定
45	イ. 魅力ある中心商店街づくり			
	▪ 中心市街地の賑わいづくり	新たな支援	⇒	地元商店街や事業者等と協働で事業を実施しており、一部民間主導へシフトする形で事業の見直しを実施
	▪ IT活用による利便性向上の支援	支援情報の提供等	⇒	平成25年10月から中心商店街にWi-Fi環境を実験的導入
46	ウ. くまもと森都心プラザの整備			
	▪ 「くまもと森都心プラザ」の整備、運営	指定管理者が運営	⇒	指定管理者による運営実施中
47	エ. 熊本駅周辺の交流人口の増加			
	▪ 熊本合同庁舎の建設による熊本駅周辺の交流人口増加	早期建設促進及び移転要望	⇒	合同庁舎B棟については、平成24年10月に建設工事に着手され、平成26年の秋には完成する予定
③. 城下町の魅力を楽しめる環境の整備				
48	ア. 自転車貸し出しステーションの設置			
	▪ 自転車利用環境整備基本計画策定及び自転車走行空間の整備	工事实施	⇒	平成24年3月に策定した実施計画に基づき整備を推進中
	▪ レンタサイクルの導入推進	有料レンタサイクル試行	⇒	有料レンタサイクルの社会実験を実施中
49	イ. しろめぐりんの見直し			
	▪ 熊本城周遊バス「しろめぐりん」運行方法の変更	実施	⇒	平成23年3月に運行ルート及び運行間隔の見直しを行い、新ルートで運行中
	▪ 熊本城周遊バス「しろめぐりん」にバスロケーションシステムを導入	導入・運用開始	⇒	平成24年10月から試験的に熊本駅と城彩苑のバス停にデジタルサイネージ(電子掲示板)を設置し、運行情報や観光情報を提供中
50	ウ. 熊本駅都心間協働のまちづくりの推進			
	▪ 熊本駅都心間協働のまちづくりの推進	実施	⇒	まちづくり団体等と協働でまちづくりを推進中

I. くまもとの再デザインに取り組みます

3. 中心市街地の再デザイン

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
①. 安全安心なまちの実現				
51	ア. 災害に強いまちづくりの推進			
	▪ 河川の整備及び浸水対策事業等の実施	事業の実施及び県・国への要望活動	⇒	河川の整備及び浸水対策事業を実施中
	▪ 防災意識の啓発及び自主防災クラブの結成促進	地域版ハザードマップ作成による防災意識の啓発	⇒	自主防災クラブ結成促進中 地域版ハザードマップ作成を推進中 (申請済自治会等は235(904自治会中)、内ワークショップ終了は36)
	▪ 災害時要援護者の登録・支援	各区役所での業務実施	⇒	各区役所において、災害時要援護者の登録・支援を実施中
	▪ 学校施設など公共施設の耐震化の推進	事業の実施	⇒	小・中学校施設の耐震化(構造体)は平成25年度完了に向け順調に進行
52	イ. 熊本まちなかクリーンアップ作戦の実施			
	▪ 熊本まちなかクリーンアップ作戦の実施	指導啓発及びパトロールの実施	⇒	指導啓発、パトロール実施中
53	ウ. 放置自転車の解消			
	▪ 駐輪場の整備及び有料化	駐輪場の整備及び有料化の実施	⇒	平成24年6月1日から駐輪場の有料化を実施 放置自転車の解消に向け取り組みを推進中
54	エ. 1区1消防署体制の段階的整備			
	▪ 1区1消防署体制の構築	1区1署体制の段階的移行	⇒	南・北消防署の新設準備中
55	オ. 警察署配置・管轄の見直し			
	▪ 警察署配置・管轄の見直しの実現(県事業)	実現に向けた協議	⇒	熊本合志署(仮称)設置など警察署再編案を県警において検討中
II. もっと暮らしやすさを感じることができるまちを実現します				
②. 子育てしやすいまちづくり				
56	ア. 保育園の待機児童ゼロ			
	▪ 保育所整備による待機児童の解消	保育所整備	⇒	新設含む10ヶ所の保育所整備を実施中
	▪ 家庭的保育事業の実施	事業開始	⇒	平成24年11月から3ヶ所で事業開始 平成25年度は新たに3ヶ所増設予定
57	イ. 多子世帯等の子育て支援の強化			
	▪ 第3子以降3歳未満児の保育料無料化の実施	無料化の実施	⇒	平成23年4月から第3子以降3歳未満児の保育料無料化を実施中
	▪ 育児休業中の保育継続の実施	更なる拡大検討	⇒	継続検討中
58	ウ. 認可外保育施設利用者の助成充実			
	▪ 待機児童の認可外保育施設利用に対する支援	事業開始	⇒	平成24年4月から待機児童の認可外保育施設利用に対する支援を実施中
59	エ. 乳幼児等医療費の助成拡充			
	▪ 子ども医療費助成の拡大	助成継続	⇒	平成23年10月診療分から小学校3年生までの全ての医療費について、助成対象を拡大
③. 子どもの成長を見守るまちづくり				
60	ア. 子育て支援事業とネットワークの連携強化			
	▪ こにちは赤ちゃん事業の推進	事業継続	地域組織の訪問対象を拡充	生後4ヶ月までの乳児がいる家庭の全戸訪問を目指して事業展開中 地域組織による訪問も81校区で実施
	▪ 養育支援家庭訪問事業の推進	支援体制の充実	⇒	平成23年4月から対象家庭を拡大して支援を実施中
	▪ 子育て支援ネットワークの推進	事業継続	⇒	平成23年度末までに全校区でのネットワークを整備済
61	イ. 子育て相談ネットワークの強化			
	▪ 子どもを守る地域ネットワークの機能強化	各区で会議開催	⇒	各区で子どもを守る地域ネットワークの会議を開催中
62	ウ. 里親制度の積極的な活用			
	▪ 「こうのとりのゆりかご」の検証	ゆりかごの検証	⇒	「こうのとりのゆりかご」について検証中
	▪ 里親制度の積極的な活用	里親募集の広報等	⇒	里親制度の積極的な活用のため、里親募集の広報等を実施中
63	エ. こどもセンターの設置			
	▪ こどもセンター設置による子どもの成長支援	供用	⇒	平成24年4月1日付で設置済 子どもに関する相談など様々な機能を一元化し、子どもの健やかな成長を支援
64	オ. 障がいのある子どもの療育支援			
	▪ ネットワーク型の療育システムの充実	事業継続	⇒	療育支援ネットワーク代表者会議などを開催中
	▪ 基幹型児童発達支援事業の実施	設置準備	事業開始 麻生田保育園 中島保育園	麻生田保育園(北区)及び中島保育園(西区)を児童発達支援の基幹施設として、従来実施していた児童発達支援に加え、訪問支援事業及び個別療育活動を実施中



挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
④. 高齢者が安心して暮らせるまちづくり				
65	ア. 健康づくりや社会参加の促進			
	▪ 高齢者の社会参加の促進	実施	⇒	シルバー人材センターを支援 介護保険サポーター・ポイント制度を実施
	▪ 高齢者の生きがい活動の推進	実施	⇒	各老人クラブ活動や地域サロン活動を支援 生きがい作業所において様々な講座を開催
	▪ 高齢者の雇用の安定と拡大	セミナーの開催	⇒	高齢者の雇用の安定と拡大に関するセミナーを開催
66	イ. 高齢者に適した居住環境の整備			
	▪ 高齢者の居住安定化の推進	計画の推進	⇒	平成24年3月に高齢者居住安定確保計画を策定し、高齢者の居住安定化を推進中 また、あんしん住み替え相談窓口を設置し、運用中
67	ウ. 地域との連携によるケアの充実			
	▪ 地域包括ケアシステムの構築	実施	⇒	地域包括ケアシステムの実施により、日常生活圏域でのケアの充実に取り組み中
68	エ. 重症化の予防、権利擁護の推進			
	▪ 認知症高齢者等の支援	実施	⇒	認知症家族の会からの相談対応等の支援を実施中 認知症サポーターを累計で、3万1千人以上認定済
	▪ 成年後見人制度等の利用支援	実施	⇒	成年後見人制度についての相談や申し立てに対応中
	▪ 認知症疾患医療センターの運営	検討	準備	平成26年度からの指定に向けて、補正予算(債務負担)を平成25年度9月議会へ提案 平成25年度中に募集・選定
⑤. 障がいのある方が生きがいを持てる生活環境づくり				
69	ア. 就労等の自立支援の強化			
	▪ 障がい者への就労支援の推進	雇用奨励金交付	⇒	障がい者の雇用促進を目的とした雇用奨励金交付事業を実施中
	▪ 市民協働による地域生活支援の推進	実施	⇒	平成25年度には、チャレンジ協働事業として、NPO法人と障がい者施設の商品力向上に向けた取組みを実施
	▪ 障がい者就労・生活支援事業の推進	検討	実施	平成25年10月から、熊本市障がい者就労・生活支援センター開所
70	イ. 地域移行の支援			
	▪ 障がい者福祉相談所の設置等相談支援体制の充実	障がい者福祉相談所の開設及び運営	⇒	平成24年4月1日付で設置済
	▪ 障がい者住宅整備への支援	継続実施	⇒	障がい者住宅整備助成について、平成25年度は2件助成済
71	ウ. こころの健康センターの設置			
	▪ 精神保健の向上と精神障がい者の福祉の増進	センターの開設及び運営	⇒	平成24年4月1日付で設置済
⑥. 誰もが健康で暮らせるまちづくり				
72	ア. くまもと医療都市ネットワーク懇話会の設置			
	▪ くまもと医療都市ネットワーク懇話会の設置等先端医療都市の実現	施策の展開	⇒	グランドデザインの実現に向けて、平成24年4月から在宅医療の提供体制を支援 平成25年7月にがんサポートセンターを設置し、がん患者に寄り添った相談対応やがん治療に関する情報提供を実施
73	イ. プレホスピタルケア(病院に到着するまでの医療)の充実			
	▪ プレホスピタルケアの充実	救急ワークステーション整備	救急ワークステーション運用開始	平成25年4月1日から救急ワークステーションを3箇所で開催中
74	ウ. 健康づくりのための環境整備			
	▪ 各種検診・特定健診、予防接種の充実	合併町の検診体制の検討	⇒	協会けんぽとの健康づくり包括協定やがん対策企業等連携協定を締結するなど、がん予防啓発やがん検診の受診勧奨等の充実に向けた取組みを実施中 合併町の検診体制については検討中
	▪ 慢性腎臓病(CKD)対策の推進	⇒	⇒	CKDの啓発、発症予防(ICTの活用も含む)から悪化防止のための総合的な取組みを実施中 平成25年10月からICTを活用したわくわくカラダ引き締め大作戦を開始
	▪ 校区単位の健康まちづくりの推進	ICT活用による事業実施	⇒	各校区で校区自治協等との協働による健康づくりをテーマとした取組みを展開中 平成25年8月に、先駆的校区の取組みを共有し全市的な推進を図るため、全校区を対象とした健康まちづくり活動研修会を開催
75	エ. 安定した国民健康保険制度の運営			
	▪ 国民健康保険制度の適正な運営	健全化計画の実施	⇒	国民健康保険会計健全化計画に沿って、国民健康保険制度の適正な運営を実施中

II. もっと暮らしやすさを実感できるまちを実現します

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
⑦. 人材を育てる教育環境の実現				
76	ア. 熊本市ならではの教育の実現			
	▪ 政令市移行に伴う熊本市ならではの教育の推進	実施	⇒	熊本市独自の教職員採用・管理職選考試験を継続実施 ふるさとに学ぶ郷土読本を授業等で活用中
77	イ. 国際化に対応した人材の育成			
	▪ 外国語教育の充実	事業充実	⇒	英語CD(クラス用補助教材)やニュースレター(教員用指導法掲載誌)を活用した授業を実施中
78	ウ. 学校規模の適正化			
	▪ 分離校の新設など学校規模の適正化の推進	適正化検討委員会審議	田迎西小開校予定	平成25年度に田迎西小学校を開校 力合西小学校は平成26年度開校に向け建設中 学校規模適正化基本方針を策定中
79	エ. 学校のサポートシステムの充実			
	▪ スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)の拡充	SSW配置拡充 SC配置実施	SSW配置拡充 SC配置拡充	SSWは5人体制、活動時間5,500時間に拡充 SCは拠点中学校21校に配置し、全中学校に対応できる体制を整備
80	オ. 特別支援教育の充実			
	▪ 特別支援教育の充実	推進計画の策定	計画実施	熊本市特別支援教育推進計画に基づき、計画どおり推進中 特別支援学校高等部は、基本設計と開校に向けた諸準備を実施中 特別支援学校小・中学部は、基本計画を策定中
⑧. 市民協働のまちづくり				
81	ア. 市民参画と協働の推進条例の制定			
	▪ 「市民参画と協働の推進条例」に基づく取り組みの推進	市民参画・協働の推進	⇒	条例に基づく市民参画と協働を推進中
82	イ. 区役所を中心としたまちづくりと支援強化			
	▪ 地域のまちづくり活動支援	支援拡充	⇒	区だよりの発行などによる区ごとの地域のまちづくり活動支援を実施中
	▪ 資金支援を含めた市民公益活動支援の推進	NPO認証開始 相談業務充実 資金支援開始	⇒	市民活動支援センターにおけるNPO法人やボランティア団体等の総合的な支援並びに市民公益活動支援基金からの事業費助成を実施
83	ウ. 男女共同参画の推進			
	▪ 男女共同参画の推進及び審議会等の女性委員の同数化	委員選定時の事前協議実施	⇒ 具体的施策の見直し	審議会等の委員選定時の事前協議を実施中
84	エ. 市民協働による動物愛護の推進			
	▪ 市民協働による動物愛護の推進	基本・実施設計	工事・供用	平成25年6月に解体工事を開始し、8月に解体工事終了 平成25年7月末に本体工事を契約し8月から本体工事開始 平成26年3月から供用開始予定
85	オ. 民間主体による地域おこしの支援			
	▪ ロアッソ熊本の活動支援	出資及び県民運動本部支援	新たな活動支援	県民運動推進本部への職員派遣や地域で行われるロアッソ熊本を活用したサッカー教室の開催などについて支援するとともに、平成25年度は、児童養護施設や障がい児施設の子どもの公式試合への招待、熊本城のライトアップやピッチへの看板設置などを実施中
⑨. 持続的に発展する農水産業の振興				
86	ア. 農水産物ブランドの確立			
	▪ 農水産物ブランド化の推進	ブランド化の推進	⇒	当課HP「くまもと農商工連携サイト」の運用と併せて、農商工連携による新商品などの開発を促進中
	▪ こだわり熊本やさいの地域内流通の促進	モデル調査	全市的流通実証	地域内流通モデルの全市的実証に向けて取り組み中
87	イ. 農産物の直販拠点施設の整備			
	▪ 城南町物産館の建設	設計	工事	土木工事・建築工事着工、平成25年度末完成予定
	▪ 植木町農産物の駅(仮称)の建設	整備計画	設計	建設予定地購入に向けて準備中 また、基本計画策定のため建設検討委員会を設置
88	ウ. 担い手の確保・育成			
	▪ 農業後継者の育成及び経営基盤の強化	活動助成や講習・研修実施	⇒	経営研修会の開催や農業後継者育成クラブへの支援等を実施
	▪ 漁家の育成	支援及び環境対策講習会	支援及びコスト削減等講演会	担い手の育成に取り組み中
89	エ. 環境と調和の取れた農水産業の支援			
	▪ 農業基盤の整備(南尾迫・小島・梅洞地区 ほか)	県事業に対する負担	⇒	県営事業への負担金支出
	▪ 漁場環境保全対策の推進	環境保全への支援	⇒	水産資源の環境保全への支援を実施中
	▪ 漁港施設整備の推進	設計	工事	天明漁港において漁港施設整備事業を実施中

II. もっと暮らしやすさを実感できるまちを実現します

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
⑩. 働く場があふれるまちづくり				
90	ア. 地域の活力である中小企業の振興			
	▪ ビジネス支援センターの管理運営	指定管理者が運営	⇒	指定管理者による運営実施中
91	イ. 中小企業の国際化の支援			
	▪ 中小企業の新商品開発と販路拡大支援	商談会の開催等	⇒	産学連携や農工商連携への支援を通じ、新技術や新商品の開発を促進するとともに、商談会の開催による販路拡大を促進中 平成25年度から新たに産学連携コーディネータを配置するとともに、医工連携マッチングや知的財産戦略をはじめとする知的資産経営の推進を支援中
	▪ 中小企業の新商品開発及び海外進出の支援	支援継続	⇒	見本市助成について拡充するなど企業の海外進出を促進中
	▪ 東アジア諸国・地域との経済交流推進【No.130再掲】	支援継続	⇒	国内外において東アジアのバイヤーとの商談会の開催や東アジア輸出支援アドバイザーを配置するなど細やかな支援を実施中
92	ウ. ベンチャー企業の育成・支援			
	▪ 大学と連携した起業家への支援	支援継続	⇒	産学連携による新技術や新商品開発への支援として、くまもと大学連携インキュベータの入居者に対する助成を実施中
	▪ ビジネス支援センターの管理運営【No.90再掲】	指定管理者が運営	⇒	指定管理者による運営実施中
93	エ. 熊本市ものづくり大賞の設置			
	▪ 地場産業イノベーション創出の支援	事業実施	⇒	平成25年度は本市ものづくり大賞として5製品を認定 平成23年度及び平成24年度の認定製品も含めてトライアル調達を実施中
94	オ. 企業誘致の促進、就業の支援			
	▪ 積極的な企業誘致の推進	誘致活動、説明会、見本市等開催	⇒	平成25年4月から企業立地促進補助金の補助対象に物流センターを追加 平成25年度は、これまで10企業が立地済
	▪ 雇用の安定と若年者の就職活動の支援	ガイダンスや支援塾等開催	⇒	企業ガイダンスや就職面接会の開催など求職者の就業支援を実施中
95	カ. 地域商店街の活性化			
	▪ 買い物弱者対策の支援	制度見直し	⇒	制度の見直しを検討し、平成25年度から助成対象者、限度額、助成期間を拡大
⑪. 低炭素都市づくり				
96	ア. 低炭素都市づくりの強化			
	▪ 熊本市カーボン・オフセット(低炭素都市づくり)基金の創設	基金創設の検討	⇒	平成25年度以降の基金創設に向けて検討中
	▪ ライフステージ別環境教育の推進	カリキュラム運用と研修会実施	⇒	ライフステージ別環境教育のカリキュラムを運用し、熊本市地球温暖化防止活動推進員のスキルアップ研修会を実施中
イ. 公用車のカーシェアリングの導入				
	▪ 公用車のカーシェアリングの導入【No.38再掲】	実証実験	⇒	平成25年2月からプラグインハイブリッド車2台を使用したカーシェアリングの実証実験を実施中
97	ウ. 地下水量の保全と質の確保			
	▪ 節水や水源かん養の推進	新節水市民運動の展開	⇒	節水市民運動について、運動の認知度や家庭での節水の取り組みなどに関するアンケート調査を実施し、翌年の事業に反映
	▪ 硝酸性窒素の削減による地下水質の保全	家畜排せつ物現況把握	⇒	家畜排せつ物処理基本計画作成 熊本市家畜排せつ物適正処理検討委員会を5月と8月の2回開催し、基本計画作成に向けた検討中
⑫. 身近にスポーツを楽しめるまちづくり				
98	ア. 熊本城マラソンの開催			
	▪ 熊本城マラソンの開催	開催	⇒	ランナー及びボランティアの募集や交通規制の調整を行うなど、平成26年2月16日の第3回大会の開催に向けて準備中
99	イ. スポーツ大会・イベントの誘致促進			
	▪ スポーツコンベンション誘致の推進	拡充	⇒	JOCパートナー都市である強みを生かし、情報発信や、各競技団体の本部事務局と意見交換などを行い、合宿誘致等も含め、継続してスポーツコンベンションの誘致を実施中
100	ウ. スポーツ活動が楽しめる環境整備			
	▪ スポーツ活動環境の充実	育成支援事業展開	⇒	総合型地域スポーツクラブが実施する放課後子どもスポーツ教室について、平成24年度の9校から平成25年度は11校へ拡大し、育成支援を実施中
⑬. 文化力の高いまちづくり				
101	ア. 文化芸術活動の支援、触れる機会の充実			
	▪ 文化芸術活動への支援や触れる機会の充実	文化活動支援文化事業開催	⇒	舞台芸術助成事業について前期は18団体へ助成を実施するとともに、熊本市文化事業協会と共催で芸術文化出張講座(小中学校派遣講座9校、アーティスト派遣事業6団体)を実施
102	イ. 文化芸術を支える担い手の支援			
	▪ 文化芸術を支える担い手の支援	支援内容の拡充	⇒	伝統工芸の後継者育成のため、人づくり基金を活用して担い手支援事業開始 ストリートアートプレックスの開催についても支援を実施
103	ウ. 文化遺産、伝統文化等の継承			
	▪ 文化遺産の保全、伝統文化の継承	保全継承団体等への補助	⇒	後継者育成助成実施 保全継承団体等への補助の中で、各団体の特性にあった後継者育成に関する内容を実施 神楽等の保存会18団体に助成
	▪ 博物館展示のリニューアル	設計	⇒	整備 博物館リニューアルに伴う整備工法等の見直しを検討中
104	エ. 永青文庫の活用			
	▪ 永青文庫の活用	関係機関と連携した展開	⇒	永青文庫の所管する、美術工芸品2品について、県指定文化財への指定申請手続きを実施済

II. もっと暮らしやすさを実感できるまちを実現します

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
①. 多くの人から暮らす場所として選ばれる都市				
105	ア. 「住みなっせ、熊本キャンペーン」の実施			
	▪ 「住みなっせ、熊本キャンペーン」の実施	キャンペーンの実施	⇒	県外在住者(福岡都市圏)に対して、熊本の魅力を体験するツアー実施に向け準備中
106	イ. 暮らす場所としての優位性のPR強化			
	▪ 熊本の暮らす場所としての優位性のPR強化	PRの実施	⇒	「住みなっせ、熊本キャンペーン」として、テレビや新聞広告等の媒体を利用した情報発信の実施
	▪ 市内全域における光ブロードバンド整備	—	助成実施	光ブロードバンド整備補助金交付決定 市内の光ブロードバンド未提供地域(芳野地域及び田底地域)の整備開始
107	ウ. 定住促進の支援制度の創設			
	▪ 定住促進支援制度の創設	制度の検討	⇒	都市政策との整合を含め、効果的な定住支援制度について検討中
	▪ 熊本型コンパクトシティに向けた住宅政策	—	情報提供の実施	熊本市内への転入及び多核運搬型都市構造における居住促進エリア等への居住促進に向けて実施する情報提供の内容及び手法を検討するとともに、現在の熊本市の社会変化に対応した住生活基本計画を策定中
	エ. 高齢者に適した居住環境の整備			
	▪ 高齢者の居住安定化の推進 【No.66再掲】	計画の推進	⇒	平成24年3月に高齢者居住安定確保計画を策定し、高齢者の居住安定化を推進中 また、あんしん住み替え相談窓口を設置し、運用中
②. 観光で選ばれる都市				
108	ア. 関西以西からの観光客誘客の推進			
	▪ 国内観光客の誘客を促すPRの実施	PRの拡充	⇒ 県大阪事務所職員派遣	熊本国際観光コンベンション協会などと連携し、新幹線沿線主要都市のイベントなどを活用した宣伝・誘致活動を継続して実施中
109	イ. 都市連携による観光ルートづくりの推進			
	▪ 広域観光ネットワークの推進	推進継続	⇒	平成25年9月に「東・中九州観光ルート協議会」の各都市と連携し釜山国際観光展に参加しプロモーションを実施するなど、各協議会における各都市と連携し、宣伝・誘致活動を実施中
110	ウ. 中心市街地の回遊性の向上			
	▪ 熊本城第Ⅱ期復元整備の実施	復元整備継続	⇒	継続して復元整備事業を実施中
	▪ 「桜の馬場 城彩苑」を拠点とした回遊性の向上	城彩苑の活用による回遊性の向上	⇒	平成24年度に設置した街中の観光案内所や商店街などと連携し、互いに情報提供を行うほか、お城や城彩苑で夜のイベントを開催することで宿泊や街中への誘導につながるような取り組みを実施中
111	エ. くまもとまち歩き観光の推進			
	▪ 記念館等の保全活用	各館展示リニューアル	⇒	小泉八雲熊本旧居、徳富記念館の展示改修に着手
	▪ まち歩き旅行商品開発	調査及び商品開発	⇒	「くまもとさるく」や「くまもとまち歩き案内人」など、コンベンション協会が実施する取り組みを支援中
112	オ. 観光拠点の活用と情報発信			
	▪ 新幹線総合車両基地の活用	情報発信等	⇒	平成23年6月から新幹線総合車両基地一般公開開始 新幹線総合車両基地については、ホームページにて情報発信中
	▪ 塚原古墳群の活用	情報発信等	⇒	今後のより効果的な情報発信等の実施に向け関係機関と協議中
	▪ 田原坂・植木温泉の活用	情報発信等	⇒ 記念式典等開催	平成25年10月13日に植木文化センターにて、玉東町と共に西南戦争遺跡国指定記念式典・シンポジウムを開催
113	カ. 誰もが移動しやすい環境の整備			
	▪ リフト付き観光バスの導入の促進	導入支援策の検討	⇒	バス事業者などに対し聞き取り調査を実施し、事業者の意向を踏まえながら対応策を検討中
	▪ 誰でも利用しやすい市電利用環境の整備 【No.29再掲】	順次電停改良工事	低床電車機種選定・車両製作及び工事	低床電車の機種選定し、デザインを作成中 電停改良については35電停中19電停が改良済 今年度は交通局前電停の改良工事を実施予定
114	キ. フィルムコミッションの活動体制の強化			
	▪ フィルムコミッションの推進	新たな事務局の設置・運営	事業推進	映画やドラマ、バラエティ、CMなどの撮影支援、エキストラ応募に関する事業を展開中
③. MICE(マイス)開催地として選ばれる都市				
115	ア. 国内外のMICE(マイス)の誘致			
	▪ MICEの誘致及びおもてなし提供体制の整備	MICE誘致推進機構の設置・運営	コンベンション協会助成・MICE誘致推進機構加盟団体と連携した誘致活動	MICE誘致推進機構第2回総会において決定した重点事項について取り組み中
	イ. MICE(マイス)機能の充実			
	▪ MICEの推進 【No.44再掲】	MICE誘致推進機構の設置・運営	MICE誘致推進機構加盟団体と連携した誘致・受入体制づくり	MICE誘致推進機構第2回総会において決定した重点事項について取り組み中
	▪ MICE施設の整備 【No.44再掲】	整備の検討	基本計画策定	MICE施設整備基本計画の策定に向けて、有識者等による審議会において審議中
	▪ 花畑地区文化ホール等の整備 【No.44再掲】	事業スキームの見直し	—	平成25年3月の熊本市花畑地区開発協議会の解散に伴い、整備中止が決定
116	ウ. 日中韓首脳会議やアジア太平洋都市サミット等の国際会議の誘致			
	▪ 国際会議の誘致	各種国際会議の誘致活動	⇒ アジア太平洋都市サミット開催	平成25年10月31日～11月2日のアジア太平洋都市サミット開催に向け、参加予定都市と調整中

Ⅲ. 選ばれる都市くまもとを実現します

挑戦元年アクションプラン(行程表)進捗状況

区分、No.	項目	24(年度)	25	進捗状況(平成25年9月末時点)
④. 企業の立地・進出先として選ばれる都市				
117	ア. 企業立地の促進			
	積極的な企業誘致の推進 【No.94再掲】	誘致活動、説明会・見本市等開催	⇒	平成25年4月1日から企業立地促進補助金の補助対象に物流センターを追加本年度は、これまで10企業が立地済
118	イ. 立地環境の整備			
	企業立地環境の整備	今藤工業団地分譲開始	⇒	平成24年11月から今藤工業団地の分譲を開始
119	ウ. 起業化、新規創業の支援			
	新規創業支援及び人材育成の実施	支援継続	⇒	産学連携による新技術や新商品開発への支援として、くまもと大学連携インキュベータの入居者に対する助成を実施中
	ビジネス支援センターの管理運営 【No.90再掲】	指定管理者が運営	⇒	指定管理者による運営実施中
120	エ. 企業誘致体制の強化			
	企業誘致体制の強化	企業立地推進本部設置及び運営	雇用及び人材育成に関する研修事業の実施	平成24年5月から立地推進本部を設置し、ワンストップサービスを開始 雇用及び人材育成に関する研修については、平成25年9、10月にオフィス系企業体験講座、11月にコールセンター等スーパーバイザー研修を実施予定
121	オ. 熊本市立地企業懇話会の設置			
	熊本市立地企業懇話会の設置	懇話会の組織化を検討	⇒	立地企業懇話会を開催し、立地企業や地場企業との情報交換やニーズ把握を強化 懇話会については、既に同様の組織が存在することや、企業や経済関係団体に気軽に参加いただくため、当面は組織化せずに取り組み予定
⑤. 学ぶ場所として選ばれる都市				
122	ア. 知的集積やノウハウを活用できる仕組みの構築			
	高等教育コンソーシアム熊本との連携強化	活動への積極的な関与	⇒	平成24年度までは特別会員として、平成25年度からは、正会員としてコンソーシアムに参加し活動中 H25年4月新規開設の留学生ワンストップ窓口に対する支援を県・市共同で開始
123	イ. 学生の力を活かすまちづくり			
	学生がまちづくりに参加できる仕組みづくり	高等教育機関との連携強化	⇒	くまもと都市戦略会議において「学生が元気なまちづくり」について検討中
124	ウ. 留学生への支援			
	東アジアを中心とした外国人留学生への支援	留学生向けイベント実施	留学生支援窓口設置	東アジアインターンの受け入れについて、H25年度は4名に増員 外国人留学生への市営住宅の提供を実施中(現在5戸入居)
125	エ. 雇用環境の整備			
	雇用の安定と若年者の就職活動の支援 【No.94再掲】	ガイダンスや支援塾等開催	ガイダンス等の開催	企業ガイダンスや就職面談会の開催など求職者の就業支援を実施中
⑥. 東アジアの各都市・地域から選ばれる都市				
126	ア. 上海事務所の設置			
	上海事務所の設置	上海での情報発信や収集	⇒	平成25年4月に中国語・日本語の熊本上海事務所ホームページを新規開設し、熊本への留学生誘致や熊本の企業進出を促進中
127	イ. 東アジア観光客の誘致強化			
	東アジア観光客の誘客を促すPRの実施	海外でのPR活動の実施等	⇒	韓国や中国をはじめ、各国の博覧会や観光展へPRブースを出展するなど、PR活動を実施中
128	ウ. 外国人観光客の誘致のための環境整備			
	外国人観光客のための多言語案内表記による情報の提供	サイン整備や商業者サイン表記促進実施	⇒	サイン整備について、外国人観光客のための多言語案内表記の整備を実施中 大型観光クルーズ船の入港に伴うツアーについて商店街に情報提供中
129	エ. 東アジア各都市とのアクセス強化			
	海外からの観光客誘致に伴うインセンティブやセールスの実施	一部実施	⇒	チャーター便を利用する観光客へノベルティの提供を行うなど、観光客へのインセンティブを実施中
	阿蘇くまもと空港国際線の利用促進 【No.36再掲】	チャーター便の誘致	⇒	国際線チャーター便の誘致に向けた協議会への負担金を支出中
130	オ. 東アジアでの商談会の開催、出展支援			
	東アジア諸国・地域との経済交流推進	支援継続	⇒	国内外において東アジアのバイヤーとの商談会の開催や東アジア輸出支援アドバイザーを配置するなど細やかな支援を実施中

Ⅲ. 選ばれる都市くまもとを実現します

お問い合わせ先 熊本市企画課

〒860-8601

熊本市中央区手取本町1番1号

TEL : 096-328-2035 / FAX : 096-324-1713

E-mail : [kikaku@city.kumamoto.lg.jp](mailto:kikaku@city.kumamoto.lg.jp)